

## 令和7年度 事業体系図

所属名： 町民生活課

(単位：千円、人)

款	項	目	事業番号	事業名	新規・継続等の別	当初要求額	前年度当初要求額	前々年度決算額	一般職人数	会計年度職員員数
2 総務費	1 総務管理費	11 諸費	723	消費者対策	継続	1,392	1,458	1,165	0.1	0.0
			小計					<b>1,392</b>	<b>1,458</b>	<b>1,165</b>
2 総務費	3 戸籍住民登録費	1 戸籍住民登録費	58	戸籍住民登録事務	継続	27,200	26,768	20,854	1.7	0.0
			1324	個人番号交付事務	継続	3,373	1,257	460	0.6	6.0
			小計					<b>30,573</b>	<b>28,025</b>	<b>21,314</b>
3 民生費	1 社会福祉費	2 社会福祉事業	1103	在住外国人に対する支援事業	継続	4,569	50	0	0.2	0.0
			小計					<b>4,569</b>	<b>50</b>	<b>0</b>
3 民生費	1 社会福祉費	5 国民年金事務費	81	国民年金・敬老福祉年金事務	継続	57	54	43	0.4	1.0
			小計					<b>57</b>	<b>54</b>	<b>43</b>
4 衛生費	1 保健衛生費	4 環境衛生費	113	動物愛護	継続	1,289	1,060	663	0.2	0.0
			114	斎場管理	継続	17,526	22,308	7,927	0.1	2.0
			116	環境保全	継続	1,283	9,297	1,699	0.1	0.0
			707	再生可能エネルギー推進事業	継続	3,050	1,860	1,100	0.1	0.0
			小計					<b>23,148</b>	<b>34,525</b>	<b>11,389</b>
4 衛生費	2 清掃費	1 じん芥処理費	119	じん芥処理	継続	251,864	225,286	220,753	0.6	0.0
			120	エコライフサイクル確立事業	継続	27,992	10,878	9,417	0.7	0.0
			121	不法投棄廃棄物処理事業	継続	588	558	287	0.1	0.0
			122	公共水域環境保全事業	継続	4,567	4,253	2,964	0.1	0.0
			小計					<b>285,011</b>	<b>240,975</b>	<b>233,421</b>
4 衛生費	2 清掃費	2 し尿処理費	123	し尿処理対策	継続	36,448	37,819	26,190	0.1	0.0
			小計					<b>36,448</b>	<b>37,819</b>	<b>26,190</b>
所属合計						<b>381,198</b>	<b>342,906</b>	<b>293,522</b>	<b>5.1</b>	<b>9.0</b>

# 令和7年度 事業説明書



一般会計

## 1 基本情報

事業番号	723	事業名	消費者対策	事業区分	□新規 ■継続	
担当課	町民生活課		担当係	総合窓口係		
予算区分	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	11 諸費
まちづくりビジョン	重点事業					

## 2 当該年度の事業費

(単位：千円)

	事業費	事業費財源内訳					備考	
		国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	1,392	0	0	0	0	1,392		
前年度予算額	1,458 (比較：△66)			前々年度決算額		1,165 (比較：227)		
トータルコスト	2,092	一般職人件費		700 (0.1人)		会計年度職員人件費		(人)

## 3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	悪質商法などの消費者被害を未然防止し、町民が安定した消費生活を送ることができるようにする。			
前年度からの改善点等	消費生活の多様化に伴い、消費者の知識・経験不足につけ込んだトラブルが発生している。引き続き、情報発信・啓発グッズ等を配布し啓発する。			
前年度評価で整理した取り組みの内容	特殊詐欺による被害が増加しており、ホームページ等で啓発チラシを掲載し注意喚起を行う。 消費者行政連絡協議会の消費者トラブル出前講座を、地区公民館等で実施し引き続き啓発に努める。			
細事業等	内容	予算額 (千円)	財源内訳	前年度との変更点
消費者被害の未然防止	各地区公民館を対象に、消費者トラブルの事例や対処法についての出前講座を実施し、被害の未然防止を図る。 中部消費生活センターと連携しながら情報共有を図る。 ■消耗品費 啓発グッズ 40千円 ■ふるさと広域連合負担金 消費者支援対策費 1,352千円	1,392	単町	民生児童委員協議会を母体した琴浦町消費者見守りネットワーク協議会を設置し、見守り活動の一環として消費者被害者について、相談窓口へ繋ぐよう活動を開始している。
	合計	1,392		
その他事業内容				

# 令和7年度 事業説明書



一般会計

## 1 基本情報

事業番号	58	事業名	戸籍住民登録事務	事業区分	□新規 ■継続
担当課	町民生活課	担当係	総合窓口係		
予算区分	款 2 総務費	項	3 戸籍住民登録費	目	1 戸籍住民登録費
まちづくりビジョン	重点事業				

## 2 当該年度の事業費

(単位：千円)

	事業費	事業費財源内訳					備考	
		国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	27,200	5,108	44	8,097	0	13,951	戸籍等各種証明手数料 8,097千円 その他雑入(一般財源) 1千円	
前年度予算額	26,768 (比較:432)					前々年度決算額	20,854 (比較:6,346)	
トータルコスト	39,108	一般職人件費				11,908 (1.7人)	会計年度職員人件費	(0人)

## 3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	<p>■住民の住民票及び戸籍を適切に登録、管理する。</p> <p>■証明書等を適切に発行し、住民サービスの向上を図る。</p> <p>■マイナンバー法および戸籍法の改正により、戸籍の記載事項に振り仮名が追加されることに伴い、戸籍に記載される予定の振り仮名(仮の振り仮名)について住民へ通知する。また、仮の振り仮名を住民へ通知し、1年を経過した日までに振り仮名の届出がなかった戸籍について、市町村長が仮の振り仮名を職権で振り仮名として戸籍へ一括して記載するためのシステム改修を行う。</p> <p>■Windows10のサポート期間が令和7年10月に終了することに伴い、Windows11を搭載した住民基本台帳ネットワークシステム統合端末へ機器更新する。</p>			
前年度からの改善点等	<p>■DX推進室と連携し、住民の窓口申請書の手書きによる手間の軽減、および各業務担当者への引継ぎをスムーズに行うためスマート窓口を設置する。</p>			
前年度評価で整理した取り組みの内容	<p>■引き続き住民の利便性向上のため、コンビニ交付・らくらく窓口利用のPRに努める。</p> <p>■DX推進室と連携し、手書き申請の削減、窓口の集約を行い、待ち時間の短縮を目指した窓口業務の改善を図る。</p>			
細事業等	内容	予算額(千円)	財源内訳	前年度との変更点
戸籍の登録、管理	<p>戸籍の登録、管理に必要な戸籍総合システムを利用するため、保守及び利用等を管理委託する。</p> <p>■戸籍総合システム保守・利用管理業務 7,226千円</p> <p>■戸籍総合システム共同利用サービス利用料 3,802千円</p>	11,028	国301・県44・その他8,098・町2,585	■戸籍総合システムが令和7年11月にクラウドサーバーへ移行するため利用料の変更。
振り仮名の法改正に伴う通知書作成 <b>【新規】</b>	<p>マイナンバー法、戸籍法の改正により、戸籍の記載事項に振り仮名が追加されることに伴い、戸籍に記載される予定の振り仮名(仮の振り仮名)について通知を作成する。</p> <p>■通知書作成委託料 2,497千円(圧着はがき・音声コード付)</p>	2,497	国10/10	戸籍の振り仮名記載にともない、令和7年度初旬に仮の振り仮名についての通知をするための業務委託。
振り仮名の市町村長記録に係る戸籍情報システム改修 <b>【新規】</b>	<p>仮の振り仮名を住民へ通知し、1年を経過した日までに振り仮名の届出がなかった戸籍について、市町村長が仮の振り仮名を職権で振り仮名として戸籍へ一括して記載するためのシステム改修。</p> <p>■戸籍情報システム改修業務委託料 814千円</p>	814	国10/10	戸籍法が改正され、これまで戸籍の記載事項とされていなかった氏名の振り仮名が、令和8年5月に戸籍に記載されるためのシステム改修。
窓口での各種証明書交付事務	<p>各種証明等の発行を行う。</p> <p>■消耗品費 112千円</p> <p>■印刷製本費 557千円</p> <p>■通信運搬費 1,540千円</p>	2,209	国1,496・町713	<p>■印刷製本費に証明書のコピーガード用紙を計上(150,000枚、545千円)</p> <p>■通信運搬費に「仮の振り仮名」通知書郵送費を計上(17,600通、1,496千円)</p>
マイナンバーカードを利用したコンビニでの各種証明交付	<p>住民票、戸籍、印鑑証明、税務証明等をコンビニで交付する。</p> <p>■証明交付システム利用料 8,726千円</p> <p>■コンビニ交付証明手数料 351千円</p> <p>■証明交付回線利用料 792千円</p> <p>■コンビニ交付市町村負担金 691千円</p> <p>■住民情報システム標準化対応に伴うコンビニ交付実店舗試験(東京都) 82千円</p> <p>■実店舗試験手数料 10千円</p>	10,652	単町	
	合計	27,200		
その他事業内容				

# 令和7年度 事業説明書



一般会計

## 1 基本情報

事業番号	1324	事業名	個人番号交付事務		事業区分	□新規 ■継続	
担当課	町民生活課		担当係	総合窓口係			
予算区分	款	2 総務費	項	3 戸籍住民登録費	目	1 戸籍住民登録費	
まちづくりビジョン	重点事業						

## 2 当該年度の事業費

(単位：千円)

	事業費	事業費財源内訳					備考	
		国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	3,373	3,373	0	0	0	0		
前年度予算額	1,257 (比較：2,116)				前々年度決算額		460 (比較：2,913)	
トータルコスト	26,671	一般職人件費		4,203 (0.6人)			会計年度職員人件費	19,095 (6人)

## 3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	■マイナンバーカードの交付・更新を円滑に行う。			
前年度からの改善点等	■マイナンバーカードに搭載されている電子証明書の更新期限がピークを迎え始めるため、体制を強化する。 ■Windows10のサポート期限が令和7年10月に終了することに伴い、Windows11を搭載した住民基本台帳ネットワークシステム統合端末へ変更する。 ■マイナンバーカードに係る申請書自動印字システムを導入し待ち時間の短縮を図る。 ■マイナンバーカードの期限満了に伴う更新の増加や、紙の健康保険証廃止に伴う特急発行申請に対応するため、申請用タブレット端末を購入する。			
前年度評価で整理した取り組みの内容	■マイナンバーカードの更新手続き、転入時の券面記載変更に対し、マニュアルに沿って的確に作業を進める。			
細事業等	内容	予算額(千円)	財源内訳	前年度との変更点
マイナンバーカード管理	マイナンバーカードの適切な交付・更新にかかる経費 ■時間外勤務手当 50千円 ■消耗品費 80千円	130	国10/10	
通信運搬費	マイナンバーカード交付事務に係る費用(本人限定郵便発送等) ■通信運搬費 205千円	205	国10/10	
住基ネット総合端末使用料	マイナンバーカードの交付時や更新時に利用する住基ネット総合端末使用料 ■使用料 784千円(4台)	784	国10/10	Windows10のサポート期限が令和7年10月に終了することに伴い、Windows11を搭載した住民基本台帳ネットワークシステム統合端末へ変更する。
カード交付事務等に係る機器借上料 【改善】	マイナンバーカード券面プリンタ ■借上料(2台分) 463千円 マイナンバーカードに係る申請書自動印字システム ■借上料(2台分) 1,673千円	2,136	国10/10	申請書の記入を省略できるシステムを導入することにより、分かりやすく、短時間で手続きが完了できるようにする。
タブレット端末購入 【新規】	マイナンバーカードの期限満了に伴う更新の増加や、紙の健康保険証廃止に伴う特急発行申請に対応するため、申請用タブレット端末を購入する。 ■タブレット端末2台 118千円	118	国10/10	現在、本庁舎と分庁舎でタブレット各1台で対応しているが、マイナンバーカードの期限満了に伴う更新の増加や、出張申請、紙の健康保険証廃止に伴う特急発行申請に対応するため追加で購入する。
合計		3,373		
その他事業内容				

# 令和7年度 事業説明書



一般会計

## 1 基本情報

事業番号	1103	事業名	在住外国人に対する支援事業		事業区分	□新規 ■継続	
担当課	町民生活課		担当係	総合窓口係			
予算区分	款	3 民生費	項	1 社会福祉費	目	2 社会福祉事業	
まちづくりビジョン	重点事業	情報発信と対話で築く、みんなが関わる協働のまちづくり					

## 2 当該年度の事業費

(単位：千円)

	事業費	事業費財源内訳					備考	
		国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	4,569	2,259	0	0	0	2,310		
前年度予算額	50 (比較：4,519)				前々年度決算額		0	
トータルコスト	5,970	一般職人件費		1,401 (0.2人)		会計年度職員人件費		(人)

## 3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	■外国人相談窓口を設置し、在住外国人の方が安心して生活できるよう支援する。			
前年度からの改善点等	■外国人や耳の聞こえづらい人へ配慮した文字表示システムを導入する。			
前年度評価で整理した取り組みの内容	■町民生活課において外国人の相談内容を聞き取り、関係課へ繋ぎ相談支援を継続する。			
細事業等	内容	予算額 (千円)	財源内訳	前年度との変更点
在住外国人に対する支援事業	外国人相談窓口を、在住外国人の方が安心して利用できるよう周知を行う。 ■消耗品費 50千円	50	単町	
相談窓口環境の充実 【新規】	外国人や耳の聞こえづらい人へ配慮した文字表示システム ■備品購入費 3,727千円 (スクリーンモデル2台、タブレットモデル4台) ■使用料 792千円 (8ヶ月分)	4,519	国1/2・町1/2	
	合計	4,569		
その他事業内容				

# 令和7年度 事業説明書



一般会計

## 1 基本情報

事業番号	81	事業名	国民年金・敬老福祉年金事務		事業区分	□新規 ■継続	
担当課	町民生活課		担当係	総合窓口係			
予算区分	款	3 民生費	項	1 社会福祉費	目	5 国民年金事務費	
まちづくりビジョン	重点事業						

## 2 当該年度の事業費

(単位：千円)

	事業費	事業費財源内訳					備考	
		国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	57	57	0	0	0	0		
前年度予算額	54 (比較：3)			前々年度決算額		43 (比較：14)		
トータルコスト	6,286	一般職人件費		2,802 (0.4人)		会計年度職員人件費		3,427 (1人)

## 3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	町民が老齢、障がい、死亡によって、生活の安定が損なわれることのないよう、制度年金によって生活の維持及び向上を図ることを目的とし、日本年金機構と協力・連携を図る。			
前年度からの改善点等	手続き時にフローチャートを使い、手続きもれがないよう説明を行う。			
前年度評価で整理した取り組みの内容	国民年金の未加入者や未納者を抑制するため、適切な制度説明および制度案内を引き続き行う。			
細事業等	内容	予算額 (千円)	財源内訳	前年度との変更点
国民年金等の事務	資格取得、種別変更等の申請書を受取り、日本年金機構へ進達を行う。 また、窓口で免除・学生納付特例制度や口座振替納付についての説明を行い、日本年金機構と連携し、年金受給権の確保につなげる。 ■消耗品費 25千円 ■印刷製本費 11千円 ■通信運搬費 21千円	57	国10/10	
	合計	57		
その他事業内容				

# 令和7年度 事業説明書



一般会計

## 1 基本情報

事業番号	113	事業名	動物愛護	事業区分	□新規 ■継続	
担当課	町民生活課		担当係	ゼロカーボン推進室		
予算区分	款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	目	4 環境衛生費
まちづくりビジョン	重点事業	若者の定住・Uターンへの足掛かりとなる「住まい」と「しごと」の環境整				

## 2 当該年度の事業費

(単位：千円)

	事業費	事業費財源内訳					備考	
		国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	1,289	0	512	264	0	513	犬の登録手数料 90 予防注射済票交付手数料 330	
前年度予算額	1,060 (比較：229)		前々年度決算額			663 (比較：626)		
トータルコスト	2,690	一般職人件費		1,401 (0.2人)		会計年度職員人件費		(0人)

## 3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	愛玩動物の適正飼養並びに、狂犬病の予防に努め、生活環境の保全を図る。																																																			
前年度からの改善点等	<ul style="list-style-type: none"> <li>■狂犬病予防接種の再通知(令和6年度も実施したが、効果大)の継続と獣医師会と連携した普及啓発を推進</li> <li>■民間任意団体と連携した不妊去勢手術の啓発を推進(補助対象頭数の見直し)</li> </ul>																																																			
前年度評価で整理した取り組みの内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>■引き続き狂犬病予防接種の推進を行い、普及啓発を推進</li> <li>■飼い主のいない猫の苦情を減らすため、不妊・去勢手術を推進</li> </ul>																																																			
細事業等	内容	予算額(千円)	財源内訳	前年度との変更点																																																
飼い主のいない猫対策事業 【改善】	飼い主のいない猫の不妊・去勢手術に補助金を交付し、飼い主のいない猫が増えるのを防ぎ、鳴き声やふん尿による周辺環境の悪化を防ぐ。 ■飼い主のいない猫補助金 10千円/匹×80匹=800千円 ■地域猫モデル事業補助金 22.5千円/匹×10匹=225千円	1,025	県1/2・町1/2	<ul style="list-style-type: none"> <li>■飼い主のいない猫対策補助金 過去実績考慮し、補助対象頭数を拡大(60頭⇒80頭)</li> </ul>																																																
狂犬病予防接種事業 【改善】	集団予防接種を実施し、病院に行きづらい飼い主にも予防接種を受けられる環境を整えるとともに、予防接種の未接種者へ通知を行い、接種率の向上を図る。 ■報償費(集団接種受付) 12千円 ■通信運搬費(通知葉書) 94千円 ■消耗品費 52千円 ■委託料(獣医師会) 106千円	264	手数料	<ul style="list-style-type: none"> <li>■集合注射受付報償金見直し</li> <li>■狂犬病予防接種通知はがき数量見直し</li> </ul>																																																
合計		1,289																																																		
その他事業内容	<p>■「狂犬病予防接種頭数」実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>全体頭数(頭)</th> <th>接種頭数(頭)</th> <th>接種率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和6年度</td> <td>520</td> <td>680</td> <td>76.47(※2/18現在)</td> </tr> <tr> <td>令和5年度</td> <td>518</td> <td>721</td> <td>71.84</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>514</td> <td>709</td> <td>72.50</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>516</td> <td>702</td> <td>73.50</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>518</td> <td>723</td> <td>71.65</td> </tr> <tr> <td>令和1年度</td> <td>543</td> <td>762</td> <td>71.26</td> </tr> </tbody> </table> <p>■「飼い主のいない猫対策補助金」実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>補助実績(頭)</th> <th>補助額(千円)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和6年度</td> <td>75</td> <td>600</td> <td>見込み</td> </tr> <tr> <td>令和5年度</td> <td>55</td> <td>435</td> <td></td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>103</td> <td>885</td> <td></td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>74</td> <td>645</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					全体頭数(頭)	接種頭数(頭)	接種率(%)	令和6年度	520	680	76.47(※2/18現在)	令和5年度	518	721	71.84	令和4年度	514	709	72.50	令和3年度	516	702	73.50	令和2年度	518	723	71.65	令和1年度	543	762	71.26		補助実績(頭)	補助額(千円)	備考	令和6年度	75	600	見込み	令和5年度	55	435		令和4年度	103	885		令和3年度	74	645	
	全体頭数(頭)	接種頭数(頭)	接種率(%)																																																	
令和6年度	520	680	76.47(※2/18現在)																																																	
令和5年度	518	721	71.84																																																	
令和4年度	514	709	72.50																																																	
令和3年度	516	702	73.50																																																	
令和2年度	518	723	71.65																																																	
令和1年度	543	762	71.26																																																	
	補助実績(頭)	補助額(千円)	備考																																																	
令和6年度	75	600	見込み																																																	
令和5年度	55	435																																																		
令和4年度	103	885																																																		
令和3年度	74	645																																																		



令和2年度	20	190	
令和1年度	5	45	

# 令和7年度 事業説明書



一般会計

## 1 基本情報

事業番号	114	事業名	斎場管理	事業区分	□新規 ■継続		
担当課	町民生活課		担当係	ゼロカーボン推進室			
予算区分	款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	目	4 環境衛生費	
まちづくりビジョン	重点事業	若者の定住・Uターンへの足掛かりとなる「住まい」と「しごと」の環境整					

## 2 当該年度の事業費

(単位：千円)

	事業費	事業費財源内訳					備考	
		国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	17,526	0	0	6,105	10,000	1,421	琴浦町営斎場他市町利用負担金 1,640 斎場使用料 4,005 斎場残骨灰売払金 460	過疎対策事業債
前年度予算額	22,308 (比較：△4,782)			前々年度決算額		7,927 (比較：9,599)		
トータルコスト	26,246	一般職人件費		700 (0.1人)			会計年度職員人件費	8,020 (2人)

## 3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	斎場の管理運営を適切に行うことにより、利用者の福祉と利便性向上を図る。																																																			
前年度からの改善点等	<ul style="list-style-type: none"> <li>■施設老朽化による修繕工事等を実施 (斎場車寄せ防水修繕工事)</li> <li>■残骨灰の収集処理委託業務の整理 (収集運搬・処理・埋葬・有価物売却業務一式⇒収集運搬・処理・埋葬と有価物売却業務を分ける)</li> </ul>																																																			
前年度評価で整理した取り組みの内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>■看守人に事故があった場合や災害発生時等に、安定・継続して火葬が執行できるように、引き続きふるさと斎場との連携、協定の活用を推進</li> <li>■施設老朽化による修繕工事等を実施</li> <li>■残骨灰の収集処理委託業務における「有価物」の扱いを整理</li> </ul>																																																			
細事業等	内容	予算額 (千円)	財源内訳	前年度との変更点																																																
斎場維持管理 【改善】	施設・設備の維持管理を行い、利用者が気持ちよく安心して使用できるようにする。 【斎場管理運営】 <ul style="list-style-type: none"> <li>■消耗品費(ローソク等) 328千円</li> <li>■燃料費(灯油代等) 2,820千円</li> <li>■食糧費 7千円</li> <li>■印刷製本費 82千円</li> <li>■光熱水費 1,219千円</li> <li>■修繕料 100千円</li> <li>■通信運搬費 36千円</li> <li>■手数料(浄化槽) 102千円</li> <li>■火災保険料 49千円</li> <li>■委託料(保守点検等) 810千円</li> <li>■使用料(受信料) 38千円</li> </ul> 【斎場車寄せ防水修繕工事】 <ul style="list-style-type: none"> <li>■設計監理委託料 1,425千円</li> <li>■工事請負費 9,390千円</li> </ul> 【広域連合負担金】 <ul style="list-style-type: none"> <li>■琴浦町住民 40件 1,120千円</li> </ul>	17,526	琴浦町営斎場他市町利用負担金 1,640・琴浦町営斎場使用料 4,005・斎場残骨灰売払金460・町債10,000	<ul style="list-style-type: none"> <li>■斎場車寄せ防水修繕工事を実施 設計委託料1,425千円 工事請負費 9,390千円</li> <li>■残骨灰収集運搬委託料 156千円(歳入見込は460千円)</li> </ul>																																																
	合計		17,526																																																	
その他事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>■琴浦町営斎場利用者数</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>琴浦町</th> <th>倉吉市</th> <th>北栄町</th> <th>湯梨浜町</th> <th>三朝町</th> <th>その他</th> <th>合計(人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和5</td> <td>263</td> <td>4</td> <td>39</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>8</td> <td>316</td> </tr> <tr> <td>令和4</td> <td>276</td> <td>3</td> <td>24</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>5</td> <td>311</td> </tr> <tr> <td>令和3</td> <td>257</td> <td>6</td> <td>19</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>4</td> <td>287</td> </tr> <tr> <td>令和2</td> <td>253</td> <td>2</td> <td>19</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>4</td> <td>278</td> </tr> <tr> <td>令和1</td> <td>258</td> <td>3</td> <td>23</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>17</td> <td>302</td> </tr> </tbody> </table>				年度	琴浦町	倉吉市	北栄町	湯梨浜町	三朝町	その他	合計(人)	令和5	263	4	39	2	0	8	316	令和4	276	3	24	3	0	5	311	令和3	257	6	19	1	0	4	287	令和2	253	2	19	0	0	4	278	令和1	258	3	23	1	0	17	302
年度	琴浦町	倉吉市	北栄町	湯梨浜町	三朝町	その他	合計(人)																																													
令和5	263	4	39	2	0	8	316																																													
令和4	276	3	24	3	0	5	311																																													
令和3	257	6	19	1	0	4	287																																													
令和2	253	2	19	0	0	4	278																																													
令和1	258	3	23	1	0	17	302																																													

# 令和7年度 事業説明書



一般会計

## 1 基本情報

事業番号	116	事業名	環境保全	事業区分	□新規 ■継続	
担当課	町民生活課		担当係	ゼロカーボン推進室		
予算区分	款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	目	4 環境衛生費
まちづくりビジョン	重点事業					

## 2 当該年度の事業費

(単位：千円)

	事業費	事業費財源内訳					備考	
		国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	1,283	0	0	149	0	1,134	公害防止対策負担金 149	
前年度予算額	9,297 (比較：△8,014)		前々年度決算額			1,699 (比較：△416)		
トータルコスト	1,983	一般職人件費		700 (0.1人)			会計年度職員人件費	(人)

## 3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	地球温暖化対策・脱炭素社会の実現に向けた計画策定や普及啓発を行う。また、町環境保全条例に基づき、環境保全に係る業務を行う。			
前年度からの改善点等				
前年度評価で整理した取り組みの内容	・地球温暖化対策実行計画(区域施策編)を策定し、脱炭素社会の実現に向けて「ことうらゼロカーボンチャレンジ宣言」を基に、町民・事業者などと共に行動していく指針を策定していくことが望まれる。			
細事業等	内容	予算額 (千円)	財源内訳	前年度との変更点
環境審議会	琴浦町環境保全条例に基づき、開発計画の基本的事項を環境審議会で審議する。 ■環境審議会委員報酬 64千円	64	単町	
水質検査等実施事業 【改善】	河川や工場排水の水質検査を行う。 ■工場排水水質検査委託料 300千円 ■河川水質検査委託料 355千円	655	公害防止対策負担金 149・町506	毎年度実施していた沿岸海水汚染調査を、隔年で実施するなど実施方法の変更を検討する。
環境保全・啓発活動	特定外来生物に指定されているオオキンゲイクの除去作業を委託する。また、ゼロトラ(EV)車を活用するなどして地球温暖化対策に資する啓発活動を行う。 ■ゼロトラ車関係経費(消耗品費・自動車保険料) 40千円 ■特定外来生物除去作業委託料 190千円	230	単町	
脱炭素先行地域づくり事業 【新規】	地域脱炭素の実現を図るため、倉吉市・北栄町と脱炭素先行地域の選定を目指し選定後は円滑に実施していくためのアドバイザーに係る経費を負担する。(県補助事業の補助残を1市2町で負担する) アドバイザー経費負担金 ■総額 3,000千円 うち県補助金 2,000千円(2/3) 補助残 1,000千円 琴浦町負担分 334千円(補助残を3市町で負担)	334	単町	
合計		1,283		
その他事業内容	脱炭素先行地域とは、2050年のカーボンニュートラルに向けて、家庭等の電力消費に伴うCO2排出の実質ゼロを実現し、国全体の2030年度目標と整合する削減を地域特性に応じて実現する地域のごとで、国は2025年度までに少なくとも100箇所の地域を選定することとしている。  この先行地域に選定された場合、「地域脱炭素移行・再エネ推進交付金」の活用が可能となり、次年度からの5ヶ年で上限50億円の補助を受けてCO2排出削減に向けた設備導入事業などを行うことができる。			

# 令和7年度 事業説明書



一般会計

## 1 基本情報

事業番号	707	事業名	再生可能エネルギー推進事業		事業区分	□新規 ■継続	
担当課	町民生活課		担当係	ゼロカーボン推進室			
予算区分	款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	目	4 環境衛生費	
まちづくりビジョン	重点事業	若者の定住・Uターンへの足掛かりとなる「住まい」と「しごと」の環境整					

## 2 当該年度の事業費

(単位：千円)

	事業費	事業費財源内訳					備考	
		国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	3,050	0	1,525	0	0	1,525		
前年度予算額	1,860 (比較：1,190)				前々年度決算額		1,100 (比較：1,950)	
トータルコスト	3,750	一般職人件費		700 (0.1人)			会計年度職員人件費 (人)	

## 3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	再生可能エネルギーの導入促進を図り、脱炭素社会の推進と環境負荷低減に努める。			
前年度からの改善点等				
前年度評価で整理した取り組みの内容	太陽光発電の固定価格による買取期間が順次終了を迎えるにあたり、蓄電池導入に対する補助の要望が増加してきているため、再エネ電源の活用を推進するためにも維持・拡充を検討していく。			
細事業等	内容	予算額 (千円)	財源内訳	前年度との変更点
クリーンエネルギー推進事業	環境負荷の低減のため、太陽光発電システム等クリーンエネルギー設備の導入に対して助成を行う。 ■太陽光発電システム 120千円×5件 ■薪ストーブ 150千円×3件 ■蓄電池システム 400千円×5件	3,050	県1/2・町1/2	ことうらゼロカーボンチャレンジ宣言に基づき、取組みを強化するため対象件数を拡充する。
	合計	3,050		
その他事業内容	<p>太陽光パネル1kw当たり年間約1,000kWhの電力を作ることができるとされており、4kw×5件を補助することで20kwとなり、年間約20,000kWhの電力を発電する。</p> <p>火力発電と比較した場合、太陽光発電によるCO2削減効果は1kWh当たり約600g-CO2と言われていることから、このたびの補助によるCO2排出量削減効果は約12,000kg-CO2 (12t-CO2) となり、これはガソリン車で約6年分走行した時の排出量に相当する。</p> <p>公共施設へ太陽光パネル等を積極的に導入し、非化石由来の電力利用や省エネ行動を推進していく。</p>			

# 令和7年度 事業説明書



一般会計

## 1 基本情報

事業番号	119	事業名	じん芥処理	事業区分	□新規 ■継続
担当課	町民生活課		担当係	ゼロカーボン推進室	
予算区分	款	4 衛生費	項	2 清掃費	目
まちづくりビジョン	重点事業				

## 2 当該年度の事業費

(単位：千円)

	事業費	事業費財源内訳					備考	
		国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	251,864	0	0	26,780	0	225,084	ごみ処理手数料 15,275 一般廃棄物処理許可申請手数料 75 資源ごみ売却代 630 ふるさと未来夢基金繰入金 10,800	
前年度予算額	225,286 (比較：26,578)			前々年度決算額		220,753 (比較：31,111)		
トータルコスト	256,067	一般職人件費		4,203 (0.6人)		会計年度職員人件費		(人)

## 3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	廃棄物の適正な分別・保管・収集運搬・処分を行い、生活環境の保全及び公衆衛生を維持する。			
前年度からの改善点等				
前年度評価で整理した取り組みの内容	・生ごみは水分を多く含むために、焼却炉に対して負荷をかけている。また、可燃ごみに占める重量の割合は可燃ごみ全体の約4割にも上る。生ごみの減量は、炉の寿命を延ばすことにつながるほか、ごみ処理に係る市町の負担金が軽減することにつながる。今後も堆肥化などによるリサイクルの方法を検討していく。			
細事業等	内容	予算額(千円)	財源内訳	前年度との変更点
ごみの収集運搬業務	家庭から排出される可燃ごみなどの適切な収集運搬を行い、生活環境の保全に努める。また、分別による再生資源化を進め、ごみの減量化を推進する。 ■家庭ごみ収集運搬委託料 99,614千円 ■資源ごみ回収委託料 5,233千円 ■ガラスびん・発泡スチロール処理委託料 6,512千円 ■指定ごみ袋取扱委託料 1,096千円 ■指定ごみ袋作成費 8,360千円 (大50：450,000枚 大10：50,000枚 小50：50,000枚 小10：50,000枚) ■ごみ収集日程表等印刷製本費 1,117千円	121,932	ごみ収集手数料 15,275・資源ごみ売却代630・ふるさと未来夢基金繰入金8,200・町91,315	
一般廃棄物処理業務	家庭や事業所などから排出される一般廃棄物を、広域連合のほうきリサイクルセンターで処理するための経費を負担する。 ■ごみ処理費負担金 114,640千円 ■最終処分場建設費負担金 13,744千円 ■ごみ処理施設建設費負担金 981千円	129,365	許可申請手数料75・町129,290	
ごみ回収小屋設置補助金	地域での分別を推進するため、ごみの回収小屋や回収箱などの整備に補助金を交付する。 ■資源ごみ回収小屋設置補助金 300千円	300	ふるさと未来夢基金繰入金	
赤碓金屋管理	自治会の清掃等で出た土砂や木材を管理することで、不法投棄の防止と焼却ごみの減少を図る。 ■赤碓金屋監視員報償金 42千円 ■整備機械借上料 225千円	267	単町	
合計		251,864		
その他事業内容				

# 令和7年度 事業説明書



一般会計

## 1 基本情報

事業番号	120	事業名	エコライフサイクル確立事業		事業区分	□新規 ■継続	
担当課	町民生活課		担当係	ゼロカーボン推進室			
予算区分	款	4 衛生費	項	2 清掃費	目	1 じん芥処理費	
まちづくりビジョン	重点事業						

## 2 当該年度の事業費

(単位：千円)

	事業費	事業費財源内訳					備考	
		国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	27,992	0	0	6,662	0	21,330	プラスチック収集手数料 4,162 ふるさと未来夢基金繰入金 2,500	
前年度予算額	10,878 (比較：17,114)			前々年度決算額		9,417 (比較：18,575)		
トータルコスト	32,895	一般職人件費		4,903 (0.7人)		会計年度職員人件費		(人)

## 3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	リサイクルの推進や環境学習、講演会の開催などにより、環境に対する普及啓発を行うとともに、環境に配慮した持続可能なまちづくりを目指す。			
前年度からの改善点等				
前年度評価で整理した取り組みの内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和7年度からプラスチックごみの分別回収を本格的に実施できるよう準備を進めていく。</li> <li>資源ごみ回収報奨金の実績が下がっている。ごみの排出量自体は減少傾向にあるため、単にリサイクルが後退しているとは言えないが、今後もごみ減量とリサイクル推進を両輪で進めていくことが必要。</li> </ul>			
細事業等	内容	予算額(千円)	財源内訳	前年度との変更点
資源ごみ回収事業	ごみを減量して再資源化を促進するため、資源ごみの回収量に応じて報奨金を交付する。 ■資源ごみ回収報奨金(古紙・金属類・ビン) 2,500千円	2,500	ふるさと未来夢基金繰入金	
軟質プラスチック回収事業	軟質プラスチックの回収を実施することにより、家庭ごみの分別・リサイクルを推進する。 ■軟質プラスチック収集用資材 504千円 ■軟質プラスチック収集運搬・処理委託料 3,020千円	3,524	単町	令和7年10月からプラスチックの分別回収を開始するため、軟質プラスチックの拠点回収は9月末までで終了する。
プラスチック分別回収事業 【新規】	プラスチックの分別回収を行い、ごみ減量と循環型社会の形成を推進する。 指定袋作成費(大：400,000枚 小：100,000枚) 7,040千円 ■プラスチック仮置施設借上料 396千円 ■プラスチック収集運搬委託料 8,720千円 ■プラスチック再商品化委託料 4,887千円 ■プラスチック指定袋取扱委託料 548千円	21,591	プラスチック収集手数料4,162・町17,429	
新たな廃棄物処理システムの構築 【新規】	可燃ごみのうち水分量が多い生ごみや、畜産業における糞尿などの処理について、一般社団法人エコシステム社会機構(E S A)等と連携しながら新たな処理システムを構築していくための検討を行う。 新たな廃棄物処理システム構築に関する協議(E S A) 172千円 ■宿泊手当 2,400円×2人×2回 ■宿泊費(京都) 19,000円×2人×2回 ■旅費 21,440円×2人×2回	172	単町	
ゼロカーボン推進事業	町民やこども園・小学校などを対象に、講師を招いて学習会や講演会などを開催し、リサイクルやゼロカーボンに向けた取り組みへの意識を醸成し、環境に配慮したまちづくりを目指す。 ■講師謝金 100千円 ■小学校環境学習費用弁償 30千円 ■啓発用消耗品費 75千円	205	単町	
合計		27,992		
その他事業内容	<p>○プラスチック分別回収のスケジュール</p> <p>令和7年4月～ プラスチック分別回収に係る周知の実施</p> <p>9月～ プラスチック指定袋の販売開始</p> <p>10月～ プラスチック分別回収の開始</p> <p>○プラスチック指定袋のイメージ(案)</p>			



分別によるごみの減量に努めましょう

## プラスチック (指定袋大)

### 琴 浦 町

#### プラスチック

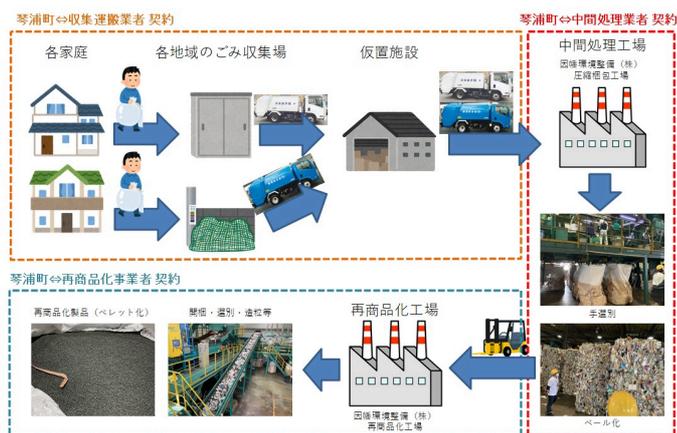
- プラスチックのみでできたもの
- プラスチック製容器・包装類
- プラスチック製品 (50cm以下のもの)

#### なまえ

- プラスチック以外のものを入れないでください。
- 洗って汚れが落ちないものは可燃ごみに出してください。
- 出す日、時間、場所を守りましょう。
- なまえの記入は、各自治会のルールに従ってください。

○プラスチック分別回収から再商品化までの流れ

琴浦町プラスチック分別回収及び再商品化に係るイメージ図



○一般社団法人エコシステム社会機構（E S A）とは

「循環」と「共生」というコンセプトに基づき、地方自治体、企業、研究機関等による共創を促進していく組織。

あらゆる人・もの・自然・地域が互いに補い、支え合う関係性のもとで、自律分散・域内循環型の「エコシステム社会」の構築を使命としており、企業や研究機関とともに地域課題の解決を目指す。

# 令和7年度 事業説明書



一般会計

## 1 基本情報

事業番号	121	事業名	不法投棄廃棄物処理事業		事業区分	□新規 ■継続	
担当課	町民生活課		担当係	ゼロカーボン推進室			
予算区分	款	4 衛生費	項	2 清掃費	目	1 じん芥処理費	
まちづくりビジョン	重点事業	若者の定住・Uターンへの足掛かりとなる「住まい」と「しごと」の環境整					

## 2 当該年度の事業費

(単位：千円)

	事業費	事業費財源内訳					備考	
		国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	588	0	151	0	0	437		
前年度予算額	558 (比較: 30)		前々年度決算額			287 (比較: 301)		
トータルコスト	1,288	一般職人件費		700 (0.1人)		会計年度職員人件費		(人)

## 3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	不法投棄の防止と不法投棄廃棄物の撤去を行い、地域環境の保全を図る。			
前年度からの改善点等	不法投棄を防止するため監視カメラを購入・活用			
前年度評価で整理した取り組みの内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>■不法投棄をなくすため、監視と共に啓発</li> <li>■不法投棄の監視を続けるとともに、悪質なものを原因者が特定できるもの等については、警察と連携し不法投棄の根絶を目指す</li> <li>■不法投棄を未然に防ぐため、監視体制の強化を図るため、監視カメラを購入・活用</li> </ul>			
細事業等	内容	予算額 (千円)	財源内訳	前年度との変更点
不法投棄廃棄物処理事業	原因者のわからない不法投棄物を早期に処理し、不法投棄の拡大を防ぐ。 ■委託料(処分) 303千円	303	県1/2・町1/2	
不法投棄監視パトロール 【改善】	不法投棄廃棄物を早期発見するため、不法投棄の巡視を行う。 ■委託料(監視) 255千円 ■備品購入費 30千円	285	単町	監視カメラの購入・活用
	合計	588		
その他事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>■不法投棄監視員</li> <li>月2回のパトロール×12ヶ月</li> <li>令和6年度現在：2人体制</li> </ul>			

# 令和7年度 事業説明書



一般会計

## 1 基本情報

事業番号	122	事業名	公共水域環境保全事業		事業区分	□新規 ■継続	
担当課	町民生活課		担当係	ゼロカーボン推進室			
予算区分	款	4 衛生費	項	2 清掃費	目	1 じん芥処理費	
まちづくりビジョン	重点事業	若者の定住・Uターンへの足掛かりとなる「住まい」と「しごと」の環境整					

## 2 当該年度の事業費

(単位：千円)

	事業費	事業費財源内訳					備考	
		国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	4,567	0	3,000	0	0	1,567		
前年度予算額	4,253 (比較：314)		前々年度決算額		2,964 (比較：1,603)			
トータルコスト	5,267	一般職人件費		700 (0.1人)		会計年度職員人件費		(人)

## 3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■地元団体と連携した海岸清掃の実施により、沿岸環境と景観を保全する。</li> <li>■不審な漂着物の早期発見、撤去を行う。</li> </ul>					
前年度からの改善点等	海岸漂着物等の産廃処理量の見直し					
前年度評価で整理した取り組みの内容	引き続き地元団体と連携し、漂着物の回収を行い、美しい海岸の維持を目指す。					
細事業等	内容	予算額 (千円)	財源内訳	前年度との変更点		
海岸漂着物 処理事業 【改善】	町内自治会やボランティア団体などと海岸清掃の委託契約を行い、各団体に年数回海岸の清掃を実施していただくことで、沿岸環境・景観の保全を行う。	4,567	県3,000・ 町1,567	<ul style="list-style-type: none"> <li>■海岸清掃用ごみ袋の価格高騰</li> <li>■産廃処理の対象量を増加</li> </ul>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■消耗品費(ごみ袋等) 27千円</li> <li>■手数料(産廃処理) 1,540千円</li> <li>■委託料(清掃、運搬) 3,000千円</li> </ul>					
	合計	4,567				
その他事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>■沿岸自治会、団体の清掃委託実績</li> </ul>					
		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	団体数	18	18	18	17	17
	実施回数(回)	60	55	66	58	55
	可燃ごみ(t)	20.38	13.89	13.71	10.39	9.19
	不燃ごみ(t)	0.57	0.52	0.45	0.65	0.44
	その他(t)	6.92	4.14	4.03	3.07	3.17

# 令和7年度 事業説明書



一般会計

## 1 基本情報

事業番号	123	事業名	し尿処理対策		事業区分	□新規 ■継続	
担当課	町民生活課		担当係	ゼロカーボン推進室			
予算区分	款	4 衛生費	項	2 清掃費	目	2 し尿処理費	
まちづくりビジョン	重点事業						

## 2 当該年度の事業費

(単位：千円)

	事業費	事業費財源内訳					備考	
		国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	36,448	0	0	0	0	36,448		
前年度予算額	37,819 (比較：△1,371)			前々年度決算額		26,190 (比較：10,258)		
トータルコスト	37,148	一般職人件費		700 (0.1人)		会計年度職員人件費		(人)

## 3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	し尿の適正処理を実施し、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図る。			
前年度からの改善点等				
前年度評価で整理した取り組みの内容	〇引き続き下水道接続を促進するとともに、し尿回収を実施し、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図る。			
細事業等	内容	予算額 (千円)	財源内訳	前年度との変更点
し尿処理	し尿や農業集落排水・浄化槽の汚泥を広域連合のクリーンセンターで処理するための経費を負担する。 ■印刷製本費 94千円 ■し尿処理施設建設費負担金 913千円 ■クリーンセンター負担金 35,441千円	36,448	単町	
	合計	36,448		
その他事業内容				